



中央地区社会教育情報誌「つなぐ」No.51号をお届けします。

今年度の学校・家庭・地域連携総合推進事業である中央地区放課後支援者研修会が、6月22日（木）に県生涯学習センターで、6月29日（木）に由利本荘市シーガルを会場に行われました。

1回目の研修会は、五城目町生涯学習奨励員の石井美智子氏を講師として、「押し花のフラワーボールペンづくり」の創作活動と、「学校連携と日常業務に関する情報交換」というテーマでの協議に、33名の方が出席しました。

どちらにも熱心に取り組む姿が見られ、創作活動では自分オリジナルの押し花のついたマイ・ボールペンを完成させた後、材料の入手方法等についての質問がたくさん出されていました。また協議では、各地域の情報提供に対してうなずいたり、笑ったり、驚いたり、途切れることなく熱の入った情報交換をする姿をたくさん見る事ができました。中には、「学校と年1回情報交換を行っているが、あくまでも情報交換だけで終わってしまっている、できれば具体的な対応を話し合うような連携をしていければと思う」などの意見が出されていました。

2回目の研修会は、岩城少年自然の家 佐々木 伸社会教育主事を講師として「子ども相互の関係性向上のためのアクティビティ」と題した実技演習と、「学校連携と日常業務に関する情報交換」というテーマでの協議に、27名の方が出席しました。

実技演習では、支援に生かせる多くのアクティビティを紹介いただき、受講者の身も心もほぐれた姿が印象的でした。「子どもたちとすぐ活動できそうなものがほとんどでありがたかったです。特に、手形を描いて好ましい言葉とそうでない言葉を書く活動は、子どもたちが仲良く過ごすためにもぜひ活用してみたいです」などと日常の指導技術に生かそうとする声が多く聞かれました。

また協議では、活発な情報交換がなされ、「第1回研修会にも参加しました。前回と異なる地域の学童クラブの方と交流できて大変有意義でした。地域や団体によって学校とのかかわり方が異なっていて学ぶ点が多かったと思います。学童同士の交流や情報交換がなされている地区もあって羨ましく思いました」という声もありました。学校連携の実状を踏まえ、自分たちにできそうな支援のあり方を学んだ研修となりました。

9月20日（水）には、男鹿市払戸小学校放課後子ども教室を中央地区担当者が訪問しました。払戸っ子チャレンジ教室 No.4「民謡日本一！真理香おねえさんと唄おう」と題し、10名の児童が民謡の唄、太鼓、踊り等に生き生きと挑戦しており、地域学校協働活動推進員



や協働活動サポーターの方々も10名の児童をしっかりとフォローする様子を見ることができました。終わりに児童たちが「民謡のことは知らなかったけど、2曲の唄、太鼓、踊りができて楽しかったです」「日本の唄のよさがわかってよかったです」「最初は緊張したけど、いい体験になりました」などと感想を発表し、とても充実した時間を過ごしたようでした。児童たちと支援員の皆さんの関わりが見える放課後子ども教室でした。

令和5年度

中央地区各市町村の特色ある事業・取組の紹介 その1

今年度、中央地区の各市町村生涯学習・社会教育主管課室で実施した特色ある事業・取組について紹介します。今回は、秋田市・にかほ市・八郎潟町・井川町の取組を紹介します。

各市町村の御担当者の皆様、情報提供ありがとうございました。

秋田市

20+3 (にじゅうさん) 歳のつどい

令和5年8月11日（金・祝）、あきた芸術劇場ミルハス大ホールにて、「20+3 (にじゅうさん) 歳のつどい」を開催しました。令和2年度に、新型コロナウイルス感染症蔓延により、中止になった成人式の代替特別企画として行われました。

当日は、スーツやワンピース、ドレス姿の1,026人もの参加者で会場は賑わいました。同級生との再会に、はちきれんばかりの笑顔で盛り上がる、華やかな姿が印象的でした。式典の他、アトラクションとして秋田市竿燈会による竿燈・お囃子の実演や大抽選会もありました。

大抽選会では、iPadや旅行券、家電、Amazon商品券などの景品が当たるということもあり、会場は熱気に包まれました。豪華賞品が当たった参加者は、拳を上げて、輝く笑顔で喜んでいました。また、人気お笑い芸人によるトーク&ライブも行われ、開催後のアンケートで最も好評でした。

当日はミルハス前のお堀の蓮の花がライトアップされ、ピンクの蓮の花がとても映えて綺麗でした。蓮の花もまるで参加者を激励しているかのようでした。



八郎潟町

八郎潟町公民館&町立図書館連携事業こらぼ講座

「まちぶらり～八郎太郎信仰と伝説の地を訪ねるバスツアー～」

令和5年6月10日（土）、潟船保存会の天野莊平氏を講師にお招きして、三湖伝説にも語られる八郎太郎信仰と伝説の地を1日かけて訪ねました。町内外から参加した25名の皆さんは、本町の町民バスに乗り、地域の宝である「八郎湖」を反時計回りで1周、12か所を巡りました。天野氏は車中ガイドもされつつ、現地では、普段見過ごされがちな小さな石祠（せきじ）や神社などにある「八郎」や「八龍」の文字に込められた民間信仰の痕跡について解説されました。参加者は地域に残る伝説を改めて知り学ぶことで郷土（ふるさと）への誇りを新たにしたいようでした。



同年7月2日付けの秋田魁新報「地方点描」に、同行記者が「社会教育事業で再認識された地域資源は観光資源へと展開できる」と記していました。生涯学習を掲げる公民館事業に図書館の知的探究型の学びが加わることは、個々の気づきと教養を高めると共に、地域活性化にもつながることを自覚しながら事業に向き合うべきだと感じた企画となりました。

井川町

育成会子ども夏まつり～夏休みサマーフェスタ～

今年度の目玉事業として、「育成会子ども夏まつり～夏休みサマーフェスタ～」を紹介します。この事業は、公民館と子ども会育成連絡協議会が共催したイベントです。

コロナ禍により事業の中止が続き、育成会のような地域コミュニティのつながりが弱まってきている実感がある中での開催でした。最後に実施した夏まつりが3年以上前で、事業自体の位置付けや必要性、段取りや運営などのイメージが分からなくなっていたので、これをコミュニティの再スタートととらえ、あえて新しい企画を1から協議しました。さらに、公民館主導の内容は避け、より育成会が介入できるものを目指し、共催という形で実施しました。



射的、輪投げ、スーパーボールすくいのほか、流行を取り入れ、eスポーツ体験コーナーを設けました。また、町の地域学校協働活動推進員に協力をお願いし、工作体験ができるコーナーを運営してもらいました。育成会の方々は親世代が中心で、地域のお父さんが祭りの出店を運営し、子どもたちの相手をする姿が見られました。

共催という形でなければ実施できない規模のイベントとなり、参加者も多く集まったため、地域コミュニティの強みを再認識できるきっかけになったと思います。冒頭で述べたように、コロナ禍が残した課題がある中で、育成会と地域学校協働活動推進員を巻き込み、コミュニティ自体の成長を促進し、町と地域をつなぐ事業を実施することができました。

にかほ市

学び直し講座：チラシデザイン

公民館講座は分かりやすく、親切、丁寧に。教える速度はゆっくりと、遅れがちな人に合わせてさらにゆっくり、最後は全員でゴール。できなかった人がいたら講座担当者は反省したりする、そんなものだと思っていました。

ところが、今年度の目玉事業、現役世代を主な対象者とした三本立て「学び直し講座」のうち、「チラシデザイン」は違いました。充実した内容の資料が3回の講座の度に提供され、それを手にパワーポイントを見ながら進んでいきます。講師の話す内容全てがポイントであるうえに、説明もアップテンポ。デザインに関する言葉、ことば、コトバ、、を一身に浴びながら、参加者は作業の手を動かします。多少理解に時間がかかっても作業してみる。迷いながら、考えながら、いや、なにも考えずに、手は動かします。しっかりと理解はできていなくても、なぜか面白く感じられたのは、知らない世界を垣間見る好奇心からでしょうか。いつもの公民館講座とはひと味違いました。こんな世界もあるのかと、その出会いにわくわくするはずです。

浜っ子クラブのみなさんへ
ぜひ参加してみませんか？

参加料
1,400円

金浦公民館講座
「ジャックオーランタンづくり」

今年のハロウィンに、本物のかぼちゃをくり抜いて作った「ジャックオーランタン」をご自宅に飾ってみませんか？
どなたでも参加可能ですので、ぜひお申し込みください

日時	令和5年10月7日(土) 午前10時～12時	場所	金浦公民館 2階 研修室
対象	単身、大さめの袋(中ゴミ袋等) 汚れてもいい服装	定員	先着8名 ※小学生以下は保護者同伴
講師	大森 拓也さん (元・大畑市協賛おこし協力隊)	申込	10月4日(水)まで

お申込み先：にかほ市金浦公民館
☎0184-38-2643 cky@city-nikaho.lg.jp
QRコードからもお申し込み可能です →

次回は、男鹿市・潟上市・五城目町・大潟村・由利本荘市の取組を紹介します。